

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677500128
法人名	社会福祉法人 陵幸会
事業所名	グループホーム 陵幸園こころ
所在地	鹿児島県鹿屋市吾平町麓3811番地2 (電話) 0994-58-5055
自己評価作成日	令和2年1月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年1月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホーム周辺には住み慣れた風景が広がり家庭的な雰囲気の中9名の方々が生活されています。個人の尊厳を重視し地域とのつながりを大切にしています。こころ菜園には四季折々の花や野菜を作り季節を感じて頂き、収穫ができ季節毎の旬の食材を喜ばれています。地域の方が野菜や果物の収穫時には声をかけて下さり、みかん狩りや花摘み、農家の方の牛舎の牛や犬を見に出かけたりして交流をさせて頂いています。地域子供会との交流や慰問、ボランティアの受け入れ、地域道路清掃作業にも参加させて頂いたり、こころの消防訓練には地域の方々が毎回参加して下さり日常的に協力や交流ができています。入居者様はご自分でできる事をそれぞれ役割を持って生活されています。スタッフも持ち味を活かし理念を共有し入居者様の思いに寄り添い信頼して頂ける様毎日のケアに取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、母体が医療機関であり、同法人の福祉施設や医療施設が隣接しており安心である。
- ・地域住民との関係性が良好で道路清掃に参加したり、みかん狩りの誘いや野菜などの差し入れもあり、地域とのつながりを大切にしている。
- ・ホームの交流室はオレンジカフェを開き家族や子供・地域住民とのふれ合いがある。地域に貢献している。
- ・毎月発行する「こころたより」は、月の目標と運営理念・行事を掲載し、家族からスナップ写真を通して利用者の状況がわかり喜ばれている。
- ・行事、創作活動、外出支援、食生活等、心のつながりを大切にした支援を行い、利用者はメリハリのある暮らしをしている。
- ・経験豊かな職員が多く、毎月勉強会を開催し「利用者のそれぞれの能力に応じてできることを支援する」との思いで介護サービスを提供している。
- ・職員間のコミュニケーションが良く、管理者は職員の意見や提案を聞いてサービスの質向上を図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	自立支援と絆や地域とのつながりを大切にしたところ理念をホーム内に掲示したり、こころ便り、パンフレットにも掲載し理念を共有し日常のケアにつなげている。	地域との連携を重要視した理念を、各ネームの裏やパンフレット・玄関・共有の場に掲示しミーティングや職員会議で振り返り共有している。毎月の便りにも記載し、家族にも理解してもらいケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方よりみかんや野菜を「どうぞ」との声をかけて頂き一緒にもらいに行ったり、その食材でおかずを届けたりしている。地域道路清掃作業の参加やバザー、文化祭出品、展示物見学や初詣にも出かけている。	地域道路清掃への参加、地域の文化祭への出品、高校生の職場体験学習の受入れ、校区の子ども達との交流がある。地域からみかん狩りの誘いやタオルやお茶・野菜の差し入れ等もある。認知症サポート養成講座の協力や災害時に地域住民の宿泊受入れを行っている。消防訓練に地域の協力もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町の文化祭へ作品出品や展示作品の見学に出かけたりしている。地域の方の野菜畑やみかん狩りにも一緒に出かけられ声をかけて下さっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回定期的に開催され、民生委員、市介護保険関係職員家族代表、地域代表者の出席がある。状況報告、課題等話し合いサービスの向上に取り組んでいる。</p>	<p>会議は2ヶ月毎に開催し、現状報告・ヒヤリハット・事故報告・外部評価結果報告等を行い意見交換している。各方面からの情報や防災・今後の課題について等を積極的に話し合い、サービスに活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括センターや居宅との認知症サポーター養成講座への参加や徘徊模擬訓練時の参加等行い協力関係がある。市の認知症その他の研修会参加や救命救急講座等への出席もしている。</p>	<p>複数の市の職員が運営推進会議に参加してもらい、認知症サポーター養成講座に事業所として参加している。行政・地域住民・事業所で情報を共有し取り組んでいる。行政主催の研修会には積極的に参加して協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>現在身体拘束事例はなく玄関は解放されている。法人の身体拘束委員会への出席をし職員は身体拘束をしないケアを行っている。言葉使いにも気をつけ、行動を制限しない様にスタッフ間で再認識している。</p>	<p>法人の身体拘束廃止委員会に毎月参加し、会議録を回覧している。法人全体の研修会が3ヶ月毎にあり参加し、事業所でも指針を基に資料を使い、身体・言葉遣い・行動の拘束について勉強会を行っている。玄関の施錠は日中していない。職員トイレやネームの裏に虐待の法則を貼って日常的に意識し対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会の中でも取り上げ虐待防止に努めている。介護の場面でも虐待に当たらないか検討しながら対応している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会で必要性を話し活用できる様支援している。成年後見人については事例がありスタッフが理解して対応できる様になっている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時契約書に沿って十分な説明を行い、疑問点や不安がない様十分な説明を行い納得やご理解を頂いた上で契約を締結している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関入口には苦情相談箱を設置している。家族会開催時にはアンケートや家族の方同志で話し合える時間を設け運営に反映させている。ご家族の面会時には気軽に思いを伝えて頂く様な雰囲気作りに努めている。</p>	<p>利用者からは日常の関わりの中で声掛けし、思いを把握している。家族からは面会や家族会、家族だけの話し合い、アンケートで意見をもらっている。避難訓練時の意見が出され、非常口の改良を行う等、運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>GH内での職員会議やミーティング、申し継ぎ帳、連絡ノート等で運営に関する提案や意見を聞く機会を設け反映させている。</p>	<p>職員間のコミュニケーションが良く、申し送り時や連絡ノート、毎月のミーティング、職員会議、ユニット合同会議で意見を聞き、個別相談にも対応している。味噌汁の濃度や浴槽のすべり止め等、ケアに関する意見が多くその都度反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々の都合をできるだけ反映させた勤務体制とし意見を取り入れている。やりがいにつながるような働き甲斐のある職場環境作りに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>市の開催している研修会への参加や併設施設の勉強会、GH内外での勉強会への参加をしている。研修会で学んだ事は職員会議で他の職員に報告し研修内容の共有に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣にグループホームがありお互いに情報提供をしたり気軽に訪問など行い、質の向上につながる様に努めている。他ホームを参考にし良い点は導入していきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が安心して過ごせる様観察、傾聴を行い希望を伺う機会を設けている。入所前にホームを訪問して頂き不安を取り除ける様努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に情報提供を行い、家族の思いを汲み取り、ホームで安心して過ごして頂ける様住環境作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状態把握に努め必要としている支援の優先順位を見極め対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の残存機能を引き出しスタッフと一緒にレクや活動への参加、洗濯物の整理や食材の皮むき、選別等行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時は自室にて過ごして頂きいつでも訪問しやすい雰囲気作りを心がけている。家族会では一緒に食事を摂られたり地域の方の慰問の見学もされ楽しく過ごして頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に通っていた美容院へご家族の協力で行かれたりドライブや散歩、町文化祭の展示作品の見学に出かけたりして馴染みの人との交流の機会を作っている。ドライブや散歩では親しんだ場所を通る様計画している。	親戚や孫の面会がある。馴染みの場所に牛や犬を見に行ったり受診の帰りに、買い物や地域の文化祭の展示作品をながめたりしている。コスモスやかかし見物に出かけ、馴染みの人との交流の機会もある。家族の協力で墓参りや外食・寺参り等に出掛けている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常の洗濯物たたみや野菜の選別等共同生活を通して交流を深めている。個々の性格や関心事等配慮し活動やレクに参加の支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院のために退居されても入院先を訪問したり電話等で家族をフォローしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族からの情報の把握、日常会話や生活の中で何をしたいのかを汲み取り希望に添える様プランを作成している。本人の意思がつかめない時は日頃の言動を観察しご家族に情報をお聞きしながら進めている。	入居時に生活履歴を把握し、日常の生活の中で本人の話や家族や職員の情報などにより、要望や希望を把握している。困難な場合は家族と話したり表情やサインをしっかりと受け止めるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族に他サービス利用の事や生活歴、趣味、特技等伺い、情報収集し思いを把握する様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の過ごし方や心身の状態、残存機能等総合的に把握する様スタッフ全員が努めている。申し継ぎ帳や連絡ノートで情報を共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	申し継ぎ帳や介護記録等を基に本人やご家族の思いを把握し介護計画を作成している。定期的にモニタリングし計画に反映している。	申し送りや介護記録、毎月のアセスメントのまとめや面会時に家族の意向を聞き、担当者会議で主治医の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは初回は3ヶ月、以降は6ヶ月毎に実施している。状況に変化があった時は、その都度見直し現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別に記録し体調の変化や変更、注意点等は申し継ぎ帳や連絡ノートに記入し情報を共有する。介護計画の相違点があればその都度検討し見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状況、ご家族の意向を伺いながら施設と調整し対応策を検討している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内の催し物、文化祭展示作品の見学や地域子供会交流会、慰問の受け入れ、高校生の職場体験等の受け入れ等行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人の希望するかかりつけ医への受診支援を行っている。月2回主治医の往診も行われ他科受診についてはご家族の協力を頂きながら職員が対応し医療機関との連携を図っている。	かかりつけ医は本人家族が希望する母体医療機関への受診支援を行っている。月2回主治医の往診がある。緊急時24時間対応の医療連携体制ができている。隣接の施設の看護師の協力もある。他科受診は家族が同行、行けない時は職員が対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員は日々のケアの中で入居者様の体調変化に気付いたら確認し看護員に連絡、報告する。適切な受診や処置が行える様支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはご家族と一緒に説明を受けている。途中面会にも伺い情報を得ている。退院後の受け入れ等連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>マニュアルがあり入居時に重度化や終末期についての説明をし同意を頂いている。事業所でできる事を説明し確認しながらその都度本人やご家族に意向を伺い方針の共有し支援している。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、入居時に本人・家族に説明して同意書を貰っている。症状の変化につれ、その都度、主治医が家族に説明して意向を確認し、希望に沿って事業所ができる最大の支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを作成し、ホーム内勉強会やミーティング等で急変時について確認し対応法など等全スタッフで検討し周知徹底に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防訓練を実施し1回は自主訓練、1回は消防署立ち合いにて行っている。同併施設との連携もできている。地域住民の方々も毎回避難誘導の協力や消火器での訓練にも参加して下さっている。その他ホーム内でも訓練実施している。災害時の備蓄も備えている。</p>	<p>年に2回消防訓練を実施しており、1回は消防署の指導の下で、他は自主訓練である。自動通報装置に職員や民生委員の登録をしている。台風災害時には、地域住民が泊まって協力している。法人との連携も取れている。備蓄は米・レトルト食品・缶詰・菓子類等がある。ランタンや防災ずきん・避難時の個人のネームプレートも用意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重やプライバシーを損ねない様心がけている。日常の会話は丁寧な言葉使いに心がけ居室への出入り時はその都度声かけを行っている。	マニュアルがあり、計画的に研修を行っている。鍵をかけない・紐を使わない・ベッド柵・言葉遣い等について学習している。トイレ介助・入室の声掛け・入浴時の対応・名前の呼び方などに配慮し、人格の尊重とプライバシーを損ねない対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の生活の中で入居者様の思いを知りいつでも話ができる雰囲気の中で自己決定できる機会を作る様心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれの方の生活のペースを大切にし急いだり無理強いはせずその人らしい生活のリズムを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自宅より衣装掛けスタンドを持ち込まれ好きな服を選ばれ着替えもされている。衣類調整の難しい方は声かけし支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べる事は楽しみにされているのでメニュー会議では希望をお聞きしたり外注食ではそれぞれ好きな物を外注し喜ばれている。カレーとライスは別がよいとの希望がある人は応じている。ご自分のペースで食べて頂く様支援している。	メニュー会議を行い好みの献立を聞いている。法人の栄養士と連携をとり楽しい食生活を提供できるように取り組んでいる。2ヶ月ごとに料理教室を行いピーナツ豆腐・そば打ち・そうめん流し・ケーキづくり等をしている。お盆拭きや野菜の皮むき等、職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の摂取状態を把握しミキサー食、刻み等食べやすい形態にして提供し食事摂取量は毎食記録し確認している。栄養士に定期的にアドバイスをもらっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの徹底に努めチェック表の記録を行っている。義歯や口腔内の不具合時には歯科受診を行い支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意、便意のない方も定期的にトイレ誘導を行いできる限りトイレでの排泄で実施している。下肢筋力低下の方は2人介助でその都度対応している。	排泄チェック表を参考に時間帯を把握して、水分や食べ物・運動等を考慮し、トイレでの排泄を支援している。自立に向けた取り組みで、現在はオムツ使用の利用者はいない。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェックを毎日行い水分補給、食物繊維の多い食材を取り入れたり、運動等促している。状況に応じて投薬による排便コントロールも取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その時の体調や希望に応じゆっくりと入浴支援を行っている。足浴も行っている。入浴拒否の方は無理強いせずタイミングをみて再度声かけをしている。	週に2~3回を目安にしているが、その日の気分や体調に合わせて柔軟に対応している。入浴拒否の利用者には、時間のタイミングを見て声かけの工夫をしている。体調により、足浴・清拭も行っている。保湿剤はベビーオイル等を使用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれの意思に沿って食後は自室で休まれたり、ソファでくつろがれてから自室にて休まれたりしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の用法、用量、副作用、病状を理解し服薬支援を行っている。内服変更時は記録を行い全スタッフに周知している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活歴や趣味、特技等お聞きし、日常生活に活かして野菜の選別や創作活動等支援している。体操や色塗り等楽しみにされ喜ばれている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	近隣への散歩やドライブ等を行いご家族の面会時にはホーム周辺の散歩を一緒に楽しまれている。地域の方より果物や野菜を「どうぞ」との声を頂き収穫を楽しまれ、農家の方の牛舎に牛を見に定期的に出かけたり、畑や菜園の野菜や花を眺めるのも喜ばれている。	その日の希望により、近隣へ散歩や畑・花を見に外出している。地域住民からみかん狩りの誘いがあり収穫したり、牛を見に牛舎に出かけている。年間計画をたて法人の車で初詣・花見・コスモスやバラ園・そうめん流し等で外出を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人と買い物に出かけた時は支払いをして頂いたり欲しい物を頼まれ買い物をしお金は預かり管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望に応じて直接ご家族へ電話を掛けたり、取り次いだりしている。手紙の代筆や代読もしてつながりを継続できる様に支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関や花壇には季節の花が咲きホーム内には季節の花を飾り、入居者様の作成した季節の塗り絵や貼り絵を壁画にしている。リビングや廊下にはソファを設置し入居者様がいつでもゆっくりとくつろげる様な空間作りを心がけている。</p>	<p>花壇や庭には季節の花が咲いており、ウッドデッキもある。リビングが広く、台所は対面式で調理の様子も見え、入居者への声掛けもできる。ぬり絵や文化祭出品の絵が飾っており、ソファはゆったりとして居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合う者同士とゆっくり会話されたり、テレビを見たりお茶を飲まれたりできるソファやテーブル席の位置、席替え等行いそれぞれの方がで過ごしやすい様工夫している。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には使い慣れたテレビやボックス、テーブルや衣装掛けスタンド、家族の写真、椅子等持ち込んで頂きご自分の部屋として安心される居住環境を心がけている。小物設置時はご家族の協力も頂きご本人の希望に応じている。</p>	<p>エアコン・ベッド・タンスが設置している。和室と洋室があり、テレビ・ボックス・テーブル・毛布・電気スタンド等、家から持ち込まれている。家族写真や生花も飾っており、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホームはバリアフリーで廊下、トイレ、浴室、脱衣所等手摺りを設置している。歩行器、シルバーカー、車椅子等使い慣れた物を持ち込んで頂いている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない